

# 長島文芸

ながしまぶんげい

## 長島短歌会

寒々と立春の日が暮れゆけり霜に傷みし豆をちぎりつ  
 氷上の華麗なる乙女は十六歳われら魚雷を作りし年ぞ  
 節分の月星見へぬ天仰ぎお神酒豆等声ひそめ撒く  
 薄き陽の差し込む部屋に庭樹木を飛び交ふ小鳥の囀り聞きぬ  
 手のひらに並べて数うる十七粒日々この葉に頼りて生くる  
 駅前の鳩らは人を怖がらずまばたき多くわれを見てをり  
 前山に夕べ満月なす時はひととき寒を忘れ見てをり  
 吐息つき囲炉裏の灰に文字を書く今は亡き父わが幼き日

米尾 和子  
 坂之下典子  
 中山タマエ  
 浜田美代子  
 濱畑 松枝  
 松元 睦子  
 岩下 ち江  
 樫平 頼子

## 一般作品

憎つくきはコロナを名乗る化物よ捕らえ調べて身元明かさん  
 枝ごとに咲ける白梅香り立ち鼻くすぐりてそつと手にする  
 年賀状コロナの文字が目に入りいつか会いたいマスクはづして  
 亡き人を偲ぶ香りは立春の白梅に会う毎年のこと  
 世之中は何が起るか分らない自分の事だ我知る事よ  
 山茶花を散らしにちらし先いそぐ庭につがいの一会の野鳥

小林 貢  
 小林 如月  
 中仮屋辰子  
 後藤ヨシエ  
 町田 末則  
 母木 良平

長島の

歌人集まる

広場あり

## 明神俳句会

初御空遠出の鶴の棹さおいつぽん  
 農始母国の帽子の実習生  
 真つさらの国旗の折り目淑気満つ  
 御降りや武家門伝ふ水の綺羅  
 初買いの靴で一步の余生かな  
 林道の朽ちし軽トラ山眠る

淵脇 護  
 二階堂妙子  
 関 佳代美  
 白男川孝仁  
 山喜加代子  
 大堂 正弘

二日はや明日あしたへと剥くゆで卵  
 浪しろき海原はるか日脚伸ぶ  
 八度目の母の寅年初日さす  
 三箇日過ぎて腰上ぐ野良仕事  
 初電話孫の声聞きえびす顔

迫口 君代  
 坂口 静子  
 大堂 早苗  
 関 喜久雄  
 二階堂恵子



耳寄りなお知らせ

## 色鮮やかな花ばなを見に来ませんか

今年も夢追い長島花フェスタが開幕される予定です。昨年同様、期間中の催しなどは実施されませんが、サンセットの丘会場では植栽された色鮮やかな花ばなが出迎えてくれます。3月下旬から見ごろですので、ぜひお越しください。

問い合わせ先  
 役場水産景観課景観係  
 ☎(86)1137[直通]